

特集

つながりあって 新しい世界へ

技術から、未来へ。



三笠産業株式会社
(山口県山口市)
→ P04

私たち山口フィナンシャルグループの山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行は、広域金融グループならではの地域や関係企業ネットワークをフル活用し、少しでも地元企業の皆様の役に立てるよう、活動しています。今回は、当社グループのネットワークがお客さまの新しいつながりへと結びついた、山口、広島、北九州それぞれの地元企業のお客さまをご紹介します。情報を提供するだけではなく、お客さまに新しいつながりが生まれ、育ち、実を結ぶその時まで、山口フィナンシャルグループはお客さまと二人三脚で歩みを続けてまいります。

地域から、知域へ。

日本から、海外へ。



井上通商株式会社
(福岡県福岡市)
→P08



H・R・D・エンジニア株式会社
(広島県安芸郡)
→P06



社会のために 人のために 前進と挑戦を 続けたい。

つながりあって
新しい世界へ
技術から、
未来へ。

三笠産業株式会社(山口県山口市)
代表取締役社長

佐伯 誠

創業66年目、
挑戦は技術の
さらなる活用へ

ポスターやTシャツ、折り紙などの印刷物がズラリと並ぶ展示ルーム。そこには、ブラックライトに浮かび上がる鮮やかな蛍光色、濃色の背景色にくっきりと映える白い文字。『きれいに色が出るでしょう?これが昨年、世界に先駆けて開発した当社の『特殊トナー』です』と展示を背に微笑む佐伯さん。『モノクロ、カラーと時代とともに技術の進化に合わせてトナーを生産してきて、次は何かと考えた時に、蛍光色と白色に行き当たりました。特に白色印刷は、弱視者には白紙に黒色で印刷するより文字が見えやすいことから、教材等への活用も期待されています』。

昭和24年、もともとは、戦後の深刻な食糧難や病虫被害を食い止めたため、農業支援の事業から歩みを始めた「三笠産業株式会社」。昭和27年以降、農薬の製剤を皮切りに、薬効を高めるため、アメリカの粉砕機を導入したことが大きな転機となりました。さまざまな固体の粉砕を受託する仕事が増え、昭和50年代にはトナー素材の受託を通して自社でのトナー生産やリサイクルも開始。2003年には、野菜を中心と

A

B

A.大好評の通販商品。「どこでもれんこん」は岩国産のれんこん使用。
B.「気流式超微粉碎技術」で栄養成分を損なわずパウダーへ。約1kgの生野菜がファイパウダーだと100gに!



した食品分野への進出を果たし、今や三笠産業の名は「微粉碎加工技術」の代名詞として、さらに広まり、成長を続けているのです。

真に豊かな
食生活から健康と
農業資源を守る



「12種類の国産野菜が摂れる『愛菜習慣』が私の定番です」。

「社会や環境は変わっていきますから、常に先をみるのが肝心です」と語る佐伯さん。「現在、商品展開を進めている『乾燥野菜』や『野菜パウダー』に関しても、きっかけは、栄養バランスの悪い食生活や自給率低下への危惧からでした。行きつけの床屋で、若い子が栄養失調で倒れたという話を聞いた時は、仰天しましたね。これは野菜の摂取が課題だと考え、生野菜を乾燥させてカサを減らし、粉碎して消化吸収を良くする商品を開発しました。原料はすべて国内産にこだわって、農家へ加工用野菜の生産も依頼しました。見栄えを気にせず、大量に作って大量に売る生産形態は、農業支援にもつな



営業担当の杉野さん。「夢のある商品を広く届けたいですね」。

がるという想いがあったのです。特に、農業が盛んな北海道や九州では、古くから焼酎用の芋など加工用野菜の栽培に歴史があり、仕入先として非常に魅力を感じていました。そんな折、創業当時の付き合いが続く山口銀行の小郡支店から、宮崎県にある企業の情報を紹介されたのだといいます。まさに、ニーズに合う情報でした。原料の仕入先のさらなる足掛かりとしてだけでなく、九州における農業生産資材の販路拡大にもつながると期待したのです。そこで、資金面のサポートも受けて、友好的なM&Aを実現しました。結果的に、従来よりも安価な仕入れの実現、新たなお取引先の開拓につながり、満足しています。今後の夢は、「真に豊かな食生活を通して、将来の医療費や介護の負担も減らすとともに、農業生産の増加によって、世界的な食糧資源の確保にも貢献すること」だそう。

「社会のため、人のためになると信じる事業を、着々と展開していきたい」と思います。

COMPANY PROFILE

- 創業:昭和24年
- 住所:山口県山口市小郡山手上町1-10
- 業種:食品加工事業(野菜ファインパウダー・乾燥野菜・愛菜習慣・明日葉石鹸)／農業支援事業(農業生産資材・販売店舗・天気予報)／機能化学事業(微粉碎加工・トナーカートリッジ・農業製剤・プリントショップ Combo)
- ☎ 083-973-0731
- http://www.mikasasangyou.co.jp/



WITH!

【山口銀行 小郡支店】係長 瀬川雄介

情報提供をはじめ、
細やかなサポートで貢献を

今回の友好的なM&Aは、当行グループ企業であるワイエムコンサルティング株式会社への情報提供の依頼が始まりました。お取引先様の交流や情報交換を行う「はってんクラブ」の副会長も務めていただく佐伯社長に、情報で貢献できて嬉しく思います。パートナーとして、信頼に応える業務をめざします!



つながりあって
新しい世界へ
日本から、
海外へ。

世界中に
確かな製品を
届けて信頼を
広げたい。

H・R・D・エンジニア株式会社(広島県安芸郡)
代表取締役

原田 利行

自動車に

込める技術で

オンリーワンの企業へ

「子どもの頃からモノづくりが好きでした。今でも自分達で作った機械で商品が完成し、街を走る姿を見るとワクワクします」と笑顔で語る原田さん。広島を本拠地に、自動車製造ラインの設計から製作までを請け負う「H・R・D・エンジニア株式会社」を創業したのは20年前。社長になろう、なんて考えたこともありませんでした。勤めていた会社が倒産し当時のお取引先から『はらちゃん、手伝ってくれんね』と請われて、一人で仕事を引き受けるうちに二人、三人…と仲間が増え、気がつけば会社になっていたのです。品質のいいものをつくるのは当たり前で、お客さまと信頼関係を築いて、受注をいただくことが何よりの喜び。従業員にも思う存分、力を発揮して仕事を楽しんでほしいとの想いから、できるだけ彼らに裁量を持たせ現場を任せています。

その方針が功を奏し、設計から製作まで自社内で一貫して対応できる設備と体制の整備ができました。お客さまから「職人技」と称される技術力と生産性への信頼感を積み上げ、次々と大手自動車メーカーからの仕事を受注。特に、部品の溶接・

A	B
	C

A.文化も違う環境で、現地の期待も感じながらようやく迎えたスタート。
B.2013年12月、タイ工場での調印式にて。
C.自動車の部品を手に「一切、仕事に妥協はしません。100%の自信をもってお客さまの元へ届けます」と話す原田社長



組立に関わる治具分野では高い評価を集め、海外からの視察も受けながら、一昨年は、ついにタイへの進出も実現しました。

**ゼロからの海外進出で
広がる夢と
次なる挑戦**



新しい波やニーズに応じて、挑戦し続けることも使命です

近年、自動車業界では急速にグローバル化が進み、多くの企業が海外へ進出しています。「当社でもアメリカやメキシコへ輸出を行っていますが、この時勢にさらなる対応が必要」と考えていたところ、お取引先のタイ進出が決まり、当社のビジネスチャンスの拡大も考えて現地法人の設立を決めました。とはいえ、情報もノウハウもないゼロからのスタート。何から手を付けていいかも分からず、相談したのが長いお付き合いのもみじ銀行でした。」

当時は、YMF Gで『海外ビジネス支援サービス』を取扱開始する前の2012年。支店長の山名さんは、まだ赴任されたばかりでした



品質と納期への要求に、次々に応えていく職人魂は、日々深化。

が、同グループでのアジアネットワークの人脈や情報網も駆使して、タイの現地事情に詳しい『独立行政法人中小企業基盤機構』を紹介してくれました。会社設立の出資資金や工場の機械設備等にかかる資金の相談にも、親身に対応していただき、心強く感じましたね。」

2012年10月に実質的な準備を開始。法律の違いや書類審査の壁も乗り越え、2013年2月に会社を登記、2013年12月には工場のグランドオープンを実現！現在は、本社から派遣した2名と現地採用の4名で稼働しているそうです。

「今後は徐々に増員して生産体制を強化しながら、将来的にはタイで受注した仕事を日本へ持ち込む流れを作りたいと考えています。初めての海外進出、そしてスタートしたばかりのタイの工場で、自分達が培ってきた技術がどう世界へ広がり、どんな未来を拓いていけるのか。今は本当に楽しみな毎日です」。新たな挑戦は、きっと地元

COMPANY PROFILE

- 創業：平成7年
- 住所：広島県安芸郡坂町平成ヶ浜4-2-43
- 業種：製造業（自動車製造設備の設計、製作、検査、据付工事、トライ調整）
- ☎ 082-820-1456
- http://www.hrd-eng.com/



WITH!

【もみじ銀行 安芸府中支店】支店長 山名伸一

YMFG全体の連携が、 大きな力に

現地法人の立ち上げから支援させていただいた2年間。アジアの人脈と情報、地域振興部と協議した資金計画、タイのTMB銀行との提携など、YMFG全体のネットワークでお役に立つことができました。しかし、すべて原田社長の決断があってこその実現です。今後も、末永くお力添えできたいと思います。





つながりあって
新しい世界へ
地域から、
知域へ。

どんなに時代が 進んでも face to faceが 大切。

井上通商株式会社(福岡県福岡市)
代表取締役社長

井上 由郎

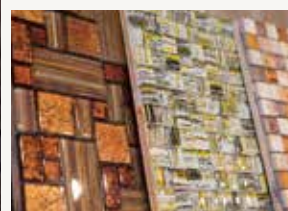
日本とアジアの窓口で
人と情報と信用を繋ぐ

アジアへの玄関口という地の利を生かし、福岡の地場の商社として半世紀以上の歴史をもつ井上通商株式会社。衣食住関連を中心とする同社の取り扱い商品の中でも大きな割合を占めるアパレル事業は、単に海外の製品を輸入して国内で販売するというものではありません。国内の顧客が企画した商品の制作を注文として受け、海外のメーカーに製作を発注、仕上がった商品を輸入して取引先に卸すという形をとっています。そこで重要になるのが「人と情報と信用」と、井上さんは言います。

近年、インターネットの普及で「情報」については探すのもやりとりするのも便利になっていますが、「結局フェイス・トゥ・フェイスの情報がいちばん重要ですね」と井上さん。お客さまのニーズを把握し、それを言語が異なる外国人にいかに関違いがないように伝えるか。何かとトラブルが多くなりがちの海外企業とのやりとりですが、進捗状況を細かくチェックして、もしもズレがあればお客さまに報告し、その場で修正することに心を砕いているとのこと。それが僕らの役目なんですよ」と井上さんは続けます。そのためにも、一つの業務を専門の

A	B	C
		D

A.メイドインチャイナの衣料品は、縫製技術の向上はもちろん、デザインのディテールまで、細やかな仕事が行われるよう監督。
B.今年から新規開拓となる日本酒の輸出について想いを語る井上さん。
C.日本のトレンドを意識したシューズのデザインも秀逸。
D.硝子をタイルに融合。美しく新しい世界観を表現。



創業社長・井上二郎氏が亡くなり、息子の由郎さんが社長に就任したのが2013年秋のこと。新社長となった井上さんが掲げる「ニュービジネス」の一つに「輸出」があり、その中でYMF Gとタッグを組んでいるのが、日本酒です。

ここ数年、井上さんやスタッフのもとに、中国の取引先からの日本酒を輸出してほしいという依頼が寄せられていました。山口県のある酒蔵の海外進出がすごいという話を聞いていた井上さんは、山口県の酒蔵なら輸出についての機運も高まっているのではないかと、YMF



2013年、父の後を継ぎ新社長に就任した井上さん。

部署で分業するのではなく、受注から納品までを一人の「人」(担当者)が責任をもって完結していく井上通商のやり方を貫いてきました。これが「信用」を生み、今では井上通商の「強み」になっています。

**YMF Gの
ネットワークで日本酒の
輸出にチャレンジ**



ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」。その勢いによって、日本酒もブームの機運に恵まれた。

Gグループの北九州銀行に地元の酒蔵の紹介を依頼したのです。「酒蔵さんは歴史もあるし、プライドをもって仕事してらっしゃるから、急には会ってもらえないんですよ」と当時を振り返る井上さん。すぐに、北九州銀行の担当者が地域に根を張るYMF Gのネットワークを通じて「海外販路を拡大したい」という酒蔵探しに奔走、井上さんに紹介しました。それが功を奏して、地域の支店長同行までも叶い、複数の酒蔵との面談が実現したのです。中国での販売に関しても、山口銀行大連支店にスタッフが訪問された際、支店長から現地における日本酒のマーケティング情報や、山口県人会などのネットワークも紹介させていただきました。

日本酒の輸出は新酒ができる2月からいよいよスタート。井上さんは「ホップ・ステップ・ジャンプでいえば、昨年はホップの前の」助走「でした。今年は「ホップ」でできたらいいなあとと思っています」と抱負を語ってくれました。

COMPANY PROFILE

- 創業:昭和36年
- 住所:福岡市中央区草香江2-3-32
- 業種:貿易商社(建材・食品・飼料・アパレル)／設備機材(空調機材・配管材料・環境機器)／不動産・経理事務／ニュービジネス(インターネット通販・IT事業・輸出(日本酒・焼酎等))
- ☎ 092-771-9321
- http://inoue-trading.co.jp



WITH!

【北九州銀行 博多駅東支店】 次長 田中紀之

お取引先同士を繋いで 両方に喜んでいただく

井上社長とお話の中で日本酒というキーワードが出た時、「YMF Gグループのネットワークや大連などの海外拠点を生かし、そこで何かお手伝いができるのではないか」と思いました。私も機会は作りただけなのです。井上社長がおっしゃる「お客さま第一主義」は、私も銀行も同じ気持ちなのです。

